読書でビジネス力をアップする（第41回）

中身を正確に伝えるために戦略的に“外見”を見直す

2018.10.04

未来を変える「外見戦略」
川園 樹著
KADOKAWA

自分の「外見」を考える本です。人生を決めるのは「外見」すなわち「見え方」です。能力には違いがなくても、見え方で印象は変わり、結果も変わってきます。だから理想の自分を演出します。もちろん、美男美女である必要ありません。ファッションに必要以上にお金をかける必要もありません。まして、人の目を欺く必要もありません。

少しだけ見せ方を工夫するだけで、相手の印象を変えます。それが、自分の考え方さえも変えてしまいます。そのメカニズムと方法を、国際イメージコンサルタントの著者が教えてくれます。

著者は、政治家から海外の要人、上場企業経営者、芸能人、スポーツ選手、起業家など、3000人以上の方たちの外見を変えてきたそうです。そんな著者が「理想の自分」になる最新メソッドを紹介します。本書を手に取る前は、いわゆるファッション誌で紹介されるような内容かと思いました。服の選び方や色遣いの工夫、小物の使い方などです。あとは、せいぜい表情や立ち居振る舞いを列挙したものと想像していました。

実際は、全然違いました。「戦略」と銘打つだけあって、総合的な内容でした。「外見戦略」の内容と大切さを、さまざまな学術的根拠に基づいて解説、それを可能にする具体的な方法を紹介します。

網羅するのは、顔の印象づくりから、髪型、メガネ、ひげの活用法、服装、小物の選び方、コンプレックスを克服する方法、ボディーランゲージや言葉遣いに至るまで、多岐にわたります。

というわけで、見た目に悩む人、見た目を大事にしたい人、組織のトップなど人前に立つ機会が多い人はもちろん、もっと活躍したい、成功したいと考えるすべてのビジネスパーソンにオススメします。

内面から鍛える、外見から整えるの違いとは？… 続きを読む